

月刊 河井克行



さあ、進もう未来へ。



平成 29 年

日本初、鉄道復活! JR 可部線可部駅 - 河戸帆待川駅 - あき亀山駅
長年の夢がようやく叶いました
(3月4日・JR可部線あき亀山駅前広場)

陽春
号

平成 29 年 3 月
平成 29 年 4 月合併号

第24次ワシントン D.C. 出張

～トランプ大統領アドバイザーらと朝鮮半島情勢など意見交換～

北も南も朝鮮半島情勢が大きく揺れ動き、中国国家主席の四月訪米が報じられる中でワシントン D.C. を訪れた河井克行内閣総理大臣補佐官は、トランプ大統領アドバイザーや連邦議会委員長らとの会談を通じて、揺るぎない日米同盟の意義について実り多い意見交換を行いました。

また、政権に近い有力シンクタンクであるハドソン研究所で「これからの日米同盟～歴史的な首脳会談成功を受けて～」と約20分間講演。シンクタンク有識者、アジア・日本専門家、メディア関係者からの質疑にも英語で応答しました。

河井補佐官を米に派遣
首相、安環境議論へ
安倍晋三首相は14、18日
の日程で河井克行首相補佐
官を米ワシントンに派遣す
る。河井氏はトランプ政権
のアドバイザーや米議会議
員らと会談。6日に弾道ミ
サイルを同時発射した北朝
鮮の情勢を含め、アジア太
平洋地域の安全保障環境に
ついて意見交換する。

『日本経済新聞』3月11日付



「河井首相補佐官 対北朝鮮で米と連携
日本の能力役割を強化」
『NHKニュース』(3月16日)



政権移行チーム執行委員を務めた「盟友」
デヴィン・ニューネス下院諜報特別委員
長と



「首相補佐官と米議員 ミサイル防衛強化で
一致」『NHKニュース』(3月17日)



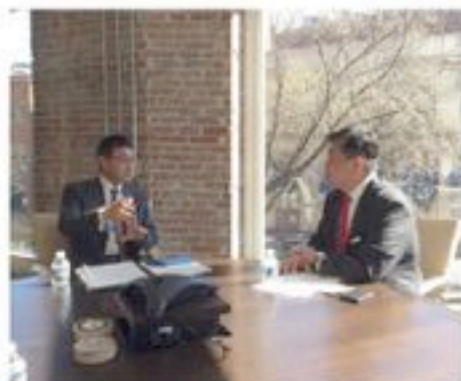
会場からの質疑に答える河井克行総理補佐
官。隣は、マイク・ペンス副大統領に近いケ
ネス・ワインシュタイン・ハドソン研究所長



トランプ大統領のアドバイザー、エドウィ
ン・フルナー・ヘリテージ財団創設者
と今回も会談



ミサイル防衛を所管する下院軍事委員会戦
略軍小委員会委員長を務める旧知のマイク
・ロジャース氏と協力深化の重要性で一致



政権移行チーム政策部門責任者を務めた
アド・マチャダ氏



オバマ政権NSC (国家安全保障会議) で
アジア上級部長を務めた旧知のエヴァン
・メデイロス氏と再会



日本が贈った数千本のボトマック河畔の
桜並木。咲き初めの桜と季節外れの大雪
という珍しい取り合わせでした

日米会談「首相は踏み込んで成功」

外交担当の首相補佐官である河井克行衆院議員が16日朝、都内のホテルで講演し、先日の日米首脳会談の内幕を語った。

「これほど事前に心配された日米の首脳会談はなかった。急いでやるべきではない、新政権の陣容が固まっていない、政策の方向性がはっきりしない」など慎重論が多かった。しかし、安倍晋三首相は逆だった。

『少しでも早く会うべきだ』と。政治的には、それがプラスになるかは不明だった。安倍首相はたじろがず、踏み込んだ。

結果はどうだったのか。

「大成りだった。ドナルド・トランプ大統領は安倍首相の言うことは、すべてOK。冒頭、19秒も見つ

め合って握手。2日間で4回も、昼と夜、昼と夜の会食をした。通常は1回。まったく異例のことだった。フロリダではずっと車で一緒。大統領は『うまが合う』といい、首相を見るまなざしが普通でない親密さだった」

会談の中身は。『まず麻生太郎副総理とペンス副大統領の間で、日米経済対話が決まった。普通は財務長官、国務長官なのが異例の副大統領だ。G7(先進主要7カ国)、G20(20カ国・地域)首脳会合などの多国間会議の際に必ず日米首脳会談を開くことも決まった。これは大統領にとって安倍首相が相談相手の第

鈴木棟一の風雲永田町

5548

「北朝鮮のミサイルに2人が並んで対応した。もともと安倍首相が日本記者団のぶち下がり取材に対応する予定だった。大統領が『自分も出る』と言いつい出し、警備陣が大騒ぎのなか、別荘で他国の記者も入れて会見となった」

就任前の大統領にニューヨークの「トランプ氏の真の狙いは米国における雇用と投資を増やすこと」

1順位を意味する。現時点では米英関係を日米関係がしのぐ状況だ」ほかには。

「北朝鮮のミサイルに2人が並んで対応した。もともと安倍首相が日本記者団のぶち下がり取材に対応する予定だった。大統領が『自分も出る』と言いつい出し、警備陣が大騒ぎのなか、別荘で他国の記者も入れて会見となった」

「ジョブ(雇用)」は上下両院選挙で共和党の訴えでもあった。その答えを持っている国は日本だ。もう一つは、大統領は公職をしたことがなく、外交・安全保障の経験不足。対して安倍首相は500回以上の首脳会談の実績があり、大統領は「相談役」と考えているようだ」

「昨年10月5日に訪米したとき、シンクタンクの代表から『トランプ氏の外交は個人的人間関係で展開される。一緒にゴルフをすることだ』とアドバイスを受けた」

河井氏が結んだ。

「トランプ氏を恐れることはない。しかし、侮ってもいけない」

(政治評論家)

河井克行氏「大統領の相談役に」

ジョン・ベイナー前米国連邦下院議長と会談

河井克行内閣総理大臣補佐官は、旭日大綬章伝達式出席のため来日したジョン・ベイナー前米国連邦下院議長と3月12日、都内ホテルで会談しました。ベイナー氏は、日本の首相としては史上初の安倍総理大臣による米国連邦議会上下両院合同本会議での歴史的な演説の実現に貢献した最大の功労者です。河井克行総理補佐官とは、安倍総理の議会演説へのお礼を一昨年九月にワシントンD.C. で述べて以来の再会でした。二十八年前、松下政経塾の海外研修で河井克行総理補佐官が前議長選挙区のオハイオ州南西部に一年間滞在したことや、河井克行総理補佐官が前議長“秘蔵っ子”のニューネス下院課報特別委員長と親交が極めて深いことなど話が大いに弾みました。



ふるさとづくり実践活動 in 沖縄県久米島・伊是名島

ふるさとづくりの推進も担当する河井克行内閣総理大臣補佐官は、3月7日(火)～9日(木)、全国から選りすぐった「ふるさとづくり実践活動チーム」の委員たちと沖縄県久米島と伊是名島に渡り、離島という厳しい環境の中で逞しく賢く熱くふるさとづくりに取り組んでいる方々と、意見交換を行いました。

久米島では、海洋深層水を発電、海ぶどう養殖、車海老養殖、野菜栽培に活用する施設や島外の高校生を受け入れる合宿研修所などを視察。琉球王朝尚円王の生誕地である人口千五百人の伊是名島は、島外の人を民家縁側で気軽にもてなす人情味で知られています。



全国初の可部線復活を振り返る

～鉄道再生の国支援策創設がきっかけ～



平成15年に可部駅～三段峽駅が廃止された可部線。その可部線の一部区間が3月4日、装いを新たに「河戸帆待川駅」「あき亀山駅」として復活しました。一旦廃止されたJR路線の復活は全国初、まさに「奇跡」と言えます。

可部駅以北区間の廃止が報じられたのは二十年ほど前、河井克行代議士が初当選したころ。旧加計町・旧筒賀村・旧戸河内町による地域挙げての存続運動に河井克行代議士も賛同。総理官邸、自民党三役、運輸省（当時）に存

続の働きかけを繰り返し行い、三段峽駅から可部駅までの存続ウォーキングに加わったこともありましたが、残念ながら地域一丸の「可部線に乗ろう」キャンペーンも期待された乗降客数増加の成果を出しつづけることはできませんでした。また河井克行代議士自身も、平成12年6月の衆議院総選挙で再選を果たせず、可部線の存続か廃止かの重要局面で国政の現場から離れることになってしまいました。



平成15年11月、三年半ぶりに国政に復帰した河井克行代議士を待っていたのは、可部駅～三段峽駅間最終運行でした。廃止の日、満員の三段峽駅行最終列車に可部駅から乗り込んだ河井克行代議士が目にした光景は、涙を流しながら列車に向かって手を振りつづける沿線の大勢の人たちの姿でした。「可部線ありがとう！」と手書きされたプラカードを揺らす家族、山の斜面から白い手拭いを力いっぱい振るお年寄り、踏み切りで停まった車から降り手を大きく振る作業着姿の男性、列車と並走して全力で駆ける生徒の集団…。



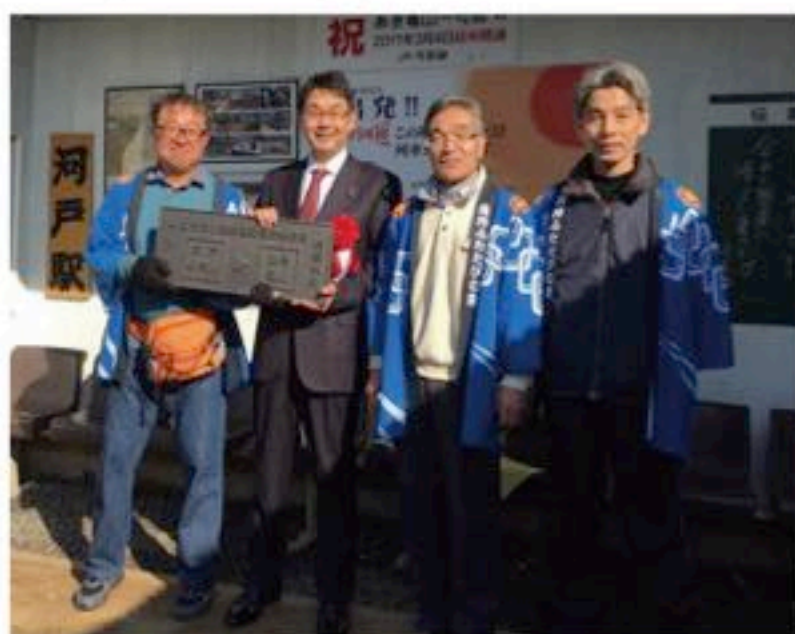
「かならずやいつの日か、鉄道復活を実現したい」河井克行代議士は心に固く誓いましたが、当初は理解される環境にはありませんでした。なぜならば、廃止になった鉄道が復活するという事態そもそもを国は想定しておらず、支援策など何もなかったからです。さらに地元では、「可部線の復活なんて出来もしないことを言いふらしていると、次の選挙にマイナスだよ」という声すら聞かれました。

転機が訪れたのは平成18年。地域公共交通が全国的に厳しさを増す中、地方自治体と鉄道事業者の

連携による取り組みを総合的に支援する新たな法的な枠組みを国が考え始めました。情報に接した河井克行代議士は「この新法に可部線復活の可能性を賭けよう」と考え、鉄道再生の支援策創設について国土交通省の担当者たちと意見交換を繰り返し行いました。そして翌年5月、国会で成立したのが「地域公共交通活性化再生法」です。これを受け、平成20年9月、「可部線



活性化調査」が国の補助対象に選ばれるとともに、法律に盛り込まれた連携計画を策定するための広島市・JR西日本などによる「JR可部線活性化協議会」が設立、国も参画。協議会で策定された旧河戸駅までの電化延伸計画を支援するため、事業費のうち国が12億1600万円の負担をすることも決まりました。いわば、一本の法律が地域の悲願を実現に導いたのです。



鉄道が帰ってきた日、亀山地域は春の陽気とともに祝い色。「あき亀山駅」で行われた式典のほか、荒下・長井・河戸・四日市の各町内会でそれぞれ手作りの祝賀行事が開催。終点「あき亀山駅」と中間駅「河戸帆待川駅」間1.6kmを大勢の人が歩いていました。大島正彦・JR可部線利用促進同盟会長をはじめとする歴代の会長・役員の方々の皆さま、中にはこの世を去った方々も、すべての地元関係者の熱意があったればこそ、鉄道の復活を成し遂げることができました。

その日、河井克行代議士も沿線をのんびりぶらぶら歩きました。地元で見つけたたくさんの笑顔に胸を熱くしながら…。ようやくあの「誓い」を成就できました。



太田川直轄床上浸水対策事業完成式

～安佐北区安佐町、安佐南区八木、安芸太田町の16か所で輪中堤など～

平成17年9月台風十四号による洪水被害をうけた太田川直轄床上浸水対策事業の完成式が2月25日(土)、安佐公民館で行われました。

発災は第四十四回衆議院総選挙の終盤のこと。河井克行代議士は夜の個人演説会を終えてから、深夜の被災地避難所を連日回りました。以来十数年間、河井克行代議士は国土交通省の案内で事業現場を毎年のように視察、工事の進捗状況を地元の皆さまと確かめてきました。

太田川全体の一般改修予算とは別の“財布”を用い、平成19年度～23年度の五か年で集中的に実施する特別緊急事業として開始されましたが、旧民主党政権時代に河川改修予算等が大幅に削減された影響などによって、完成まで10年もかかってしまいました。政治の要諦は国民の生命と財産を守ることです。河井克行代議士はこれからも地域の安全の確保に全力を挙げます。

事業完成式での河井克行代議士の思いの詰まった挨拶動画が公式フェイスブックでご覧になれます。

<http://www.facebook.com/kawaikatsuyuki> → 動画



河井克行代議士は建設産業に従事する方々を支援します

広島建労(広島県建設労働組合)は、大工・左官・瓦・建具・板金・塗装・配管・電工・畳など四十数職種の職人・一人親方・工務店主・小規模事業主が集まった、県下各地区に支部を持つ働く仲間の組織です。「自民党建設技能者を支援する議員連盟」副会長の河井克行代議士は、衆議院初当選時から全国組織と地元建労の活動を応援してきました。皆さまが安心して仕事に取り組めるように、これからも建設国保への国庫補助金確保建設など社会保障制度の充実に力を尽くします。



安佐地区総会後の懇親会 (1月29日)



北広島支部大会 (2月1日)



安芸太田地区総会後の懇親会 (2月5日)



安芸太田支部支部大会 (2月5日)



高尾支部総会 (2月11日)



広島支部大会 (2月18日)

みなさまとのふれあいが力になります



緑井毘沙門天初寅祭 (2月8日)



大可学区生活避難場所検証訓練で応急担架の体験 (2月19日)



藤興園園遊会 (2月19日)



大塚公民館まつり (3月19日)



党安佐支部大会で国政報告 (2月19日)



高陽地域体協役員懇親会 (2月12日)



高田白木法人会新年互礼会で女性部と (2月8日)



豊平どんぐり村冬の陣 (2月5日)



全国でも稀な中山間地域にある私立中高一貫教育、広島県新庄学園の卒業証書授与式で錢(はなむけ)の言葉を贈る (3月1日)



安芸高田市三矢会連合会「やよい会」一行がオタフクソース本社工場・「お好み焼き館」で研修会。同社の佐々木耐文会長もお顔出し。広島お好み焼きは河井克行代議士の大好物です (3月1日)





河井克行代議士を囲む農業青年による「農克の会」役員会（3月11日）



安芸太田町青色申告会総会後の懇親会（2月18日）



広島県板金工業組合創立50年祝賀会（2月12日）



華道家元池坊広島支部いけばな展で子ども体験用生け花に挑戦（2月18日）



司法書士制度推進議員連盟事務局長として、酒井寿夫・元日本司法書士会連合会専務理事の黄綬褒章受章祝賀会で祝辞（2月25日）



二十五周年を迎えたひろしま通訳・ガイド協会総会懇親会で理事を代表して挨拶。安倍政権の外国人訪日客増加の政策と実績を報告（2月25日）



恒例の安佐町三矢会新年互礼会が例年以上の盛会（3月12日）

総理大臣官邸に来訪



115日間の国際宇宙ステーション滞在を成し遂げた大西卓哉宇宙飛行士が表敬。『宇宙基本法』を起草した河井克行代議士は日本の宇宙開発・利用の推進に全力を尽くしています（昨年12月28日）



安倍晋三内閣総理大臣を表敬したジェームズ・センセンブレナー氏やホアキン・カストロ氏ら超党派の米国連邦下院議員一行と（2月20日）



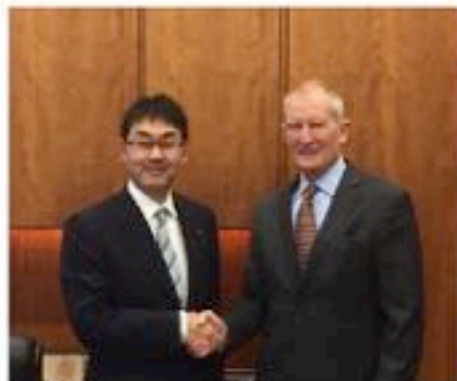
ウガンダ共和国で服飾品製造を起業した仲本千津さんと「日本Africa起業支援イニシアチブ」浪澤健代表が表敬。浪澤氏は、アフリカで起業に挑戦する若手を支援する経済人らの動きの立役者です（2月21日）



ロゼル・ウビアル保健大臣らフィリピン違法薬物対策省庁幹部一行が表敬。370万人の常用者がいるとされる覚醒剤の蔓延を撲滅するため、日本の官民による支援を行います(2月27日)



福岡県「一般社団法人ふるさと創成の会」一行。綾戸一由代表理事や國武孝治氏らの熱き訴えに河井克行総理補佐官は感激しました(2月27日)



元米国国家情報長官でもあるデニス・ブレア前笹川平和財団米国会長が表敬。日米首脳会談や地域の安全保障環境について意見を交わす(3月2日)

ネット個人献金のご案内



内閣府大臣補佐官
衆議院議員

河井克行

公式サイト
Kawai Katsuyuki Official Website

Blog @kawaiki

河井克行のブログ

ホーム
プロフィール
活動報告
国会業務
あらうてまの報告
メディア出演・書籍
海外活動

ネット献金のお願い

DONATION

政治家としてさらに活動するため、皆様一人ひとりの応援が必要です。

選挙より政治活動の活動範囲が広がるため、誠にありがとうございます。これからも選挙活動の利便性を高めるために、広げて発信して参ります。今後の政治活動に資する活動として、インターネットを利用した個人献金を奨励してまいります。皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

— ネット銀行・クレジットカードを利用した —

LOVE JAPAN 河井 克行

河井 克行

ネット献金に関するよくある質問

- Q1 情報はいくらまで見えますか?
- A1 選挙区別・立候補の有無・年齢・性別、1000円以上の寄付のみです。なお、河井克行の個人情報は「公的記録」に開示、公開いたします。
- Q2 選挙区や年齢はわかりますか?また、性別も選挙区別はわかりますか?
- A2 選挙区別はわかります。選挙区は選挙区別は開示いたしません。また、性別も選挙区別は開示いたしません。選挙区別は開示いたしません。

広報誌 河井克行

河井克行一人ひとりの活動が必ずや
ネット献金のお願い

いつも河井克行代議士の政治活動に温かいご理解と力強いご支援を賜り、誠にありがとうございます。河井克行代議士が政治家としてさらに飛躍するために、皆様一人おひとりのお支えが必要です。そこでこの度、クレジットカードを使う簡易で便利なインターネット銀行個人献金の仕組みを開設しました。詳しくは、河井克行公式ホームページ「ネット献金のお願い」をご覧ください。皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



自民党広島県第三選挙区支部 衆議院議員 河井克行事務所

内閣総理大臣官邸

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-3-1
TEL: 03-3581-0101(代表) 03-3568-8924(直通)

国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1208号室
TEL: 03-3581-5111(内線71208) 03-3508-7518(直通) FAX: 03-3508-3948

広島事務所

〒731-0153 広島市安佐南区安東 2-1-22
TEL: 082-832-7301 FAX: 082-878-3301

facebook

河井克行公式フェイスブック更新中

「いいね!」を押して最新活動報告をチェック!
www.facebook.com/kawai katsuyuki